

北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウン首都圏プロモーション事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	-														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政 策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]								
[解決すべき問題・課題] R4年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国42位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県 42位 (R4)									
[事業目的] 令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、始発駅となる東京駅や丸の内周辺を中心に、PR活動やリアルイベントなど連続プロモーションを行い、新幹線開業の話題とともに本県への誘客拡大を図る。															
[事業内容] (1) 電車および駅におけるPR活動 ・ JR東日本管内の主要駅などにおいてポスターを掲出 ・ 首都圏のJR各駅構内において開業PR動画を放映 (2) 丸の内周辺のビル等における観光物産プロモーション ・ JR東日本東京駅、KITTE丸の内等、丸の内周辺において、イベント開催や物産販売など最長1カ月の連続プロモーションを実施 ・ 一乗谷朝倉氏遺跡博物館の開館1周年を記念し、戦国大名朝倉氏のPRや春風亭昇太氏の落語会等を開催 (3) 首都圏出向宣伝事業 ・ 新幹線沿線のJR主要駅(上野駅、大宮駅、長野駅、高崎駅)や福井ゆかりの地で大型広告掲出や出向宣伝等のプロモーション活動を実施。 また、駅たびコンシェルジュとの店舗内連携を行うことで県内への送客を図る。															
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所 (H28経済センサス—活動調査)									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線沿線エリアでのPR強化事業 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウン首都圏プロモーション事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	102,657					102,657						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					103,962	102,657	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一乗谷朝倉氏遺跡博物館開館1周年記念 ・ 高崎駅出向宣伝 ・ 駅たびコンシェルジュ連携 等 					
2月現計予算額の推移					103,962							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井の認知度（全国順位）	(42) 実績 42	(40) 45	(36) 45	(36) 42	(36)	(20)	(20)	R4年度「地域ブランド調査」における認知度			
活動指標	観光物産イベントへの来場者数	(目標)			(10,000) 実績 36,000	(10,000)			都心のビジネスパーソン等に対して福井の「本物」を訴求			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・ 北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウンキャンペーン (11月・丸の内周辺) 来場者数 約36,000人				北陸新幹線福井・敦賀開業の認知度向上をはかったが、R5年度は福井県への誘客を目指す。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	1,305	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

関西・中京圏からの誘客強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助								経過年数	4 年		
補助率	10/10											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道本県開通にあわせ、関西・中京圏へのプロモーション強化が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和3年県内観光客入込数 12,356千人 うち、関西地区からの入込数 2,015千人 うち、中京地区からの入込数 1,140千人						
[事業目的] 関西・中京圏において、恐竜等の強みを活かした情報発信を行うことにより、さらなる誘客を強化する。												
[事業内容] (1) JR・旅行会社との連携による関西・中京圏誘客強化事業 (2) 岐阜県との連携による誘客強化事業 (3) ツーリズムEXPOジャパン出展事業 (4) 出向宣伝等の営業活動												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数: 5,477 (H26経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・出向宣伝等への共同参加					他県の状況						

関西・中京圏からの誘客強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	51,453	25,726			25,727	デジタル田園都市国家構想交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		20,300	23,518	56,034	56,034	51,453						
2月現計予算額の推移		5,969	14,448	14,448	49,362							
決算額の推移		3,052	14,448	14,448								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井の認知度(全国順位)	(目標) (42) 実績 42	(40) 45	(36) 45	(36) 42	(36)	(20)	(20)	R4年度「地域ブランド調査」における認知度			
活動指標	広告掲出駅数	(目標) 実績 0	(2) 0	(2) 0	(3) 4	(3)	(3)	(3)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実績 大阪駅、新大阪駅、京都駅、名古屋駅に広告を掲出 ・ 外的要因 新型コロナの影響により、事業規模縮小を縮小したことによる 目標未達成 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	4,581	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線開業に向けた魅力発信・認知度向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン~]						
[解決すべき問題・課題] R4年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国42位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県 42位 (R4)						
[事業目的] 首都圏における本県の認知度を高め、ふくいファンを拡大・確保するため、福井の魅力・イメージを発信することにより、新幹線開業に向け、継続的な誘客促進を行う。												
[事業内容] (1) 羽田空港との連携プロモーション事業 ・福井ならではの恐竜や越前がになどの「良いもの」、「本物」を展示し、認知度を向上 (2) 福井県情報のインターネット記事掲載・配信事業 ・首都圏の若年層・ファミリー層に好まれる福井県のご当地情報を取材し、インターネット記事配信。イベント情報も同時に告知 (3) ユーチューブを活用した福井の観光動画配信事業 ・福井県の観光コンテンツを題材とした、動画を制作し、WEBユーザーに動画を配信。 (4) 北陸新幹線を活用した旅行商品造成・PR事業 ・首都圏において、食や伝統文化について学ぶ「趣味の会講座」を実施。講座において学んだことを実際に体験する「趣味の会旅行」実施により、開業後の再訪を促進。 (5) 広域観光ガイドブック制作事業 ・令和3年2月19日(金)での石川県・富山県知事懇談会にて、北陸新幹線敦賀開業をふまえ、新たな広域観光ガイドブックを作成することが決定。 ・過去に広域観光ガイドブックを3回作成している環白山広域観光推進協議会で実施。 ・北陸新幹線が通る石川県、富山県、長野県と近隣の岐阜県とともに作成。 (6) SNSを活用した福井ファン拡大事業 ・インスタグラムフォトコンテスト ・インスタグラマーを活用した情報発信 ・女性向け旅サイトを活用した情報発信												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所 (H28経済センサス—活動調査)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線を活用した旅行商品造成・PR事業 (実績) 会員誌とタイアップしたモニターツアーの実施: 1回 趣味の会の講座の実施: 2回					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		石川県 ・日本橋・京橋祭への参加 富山県 ・とやまWeek in 東京				

北陸新幹線開業に向けた魅力発信・認知度向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務							
補助率	-												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	67,252		5,961			61,291		デジタル田園都市国家構想交付金					
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			3,415	113,334	122,980	74,395	67,252	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーチューブを活用した福井の観光動画配信事業の削減 ・「ZEN」魅力発信事業の廃止 ・他事業統合による増額 					
2月現計予算額の推移			3,415	102,861	81,383	74,395							
決算額の推移			3,415	100,522	78,228								
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井の認知度（全国順位）	(目標)	(42)	(40)	(36)	(36)	(36)	(20)	(20)	令和4年度「地域ブランド調査」における認知度			
		実績	42	45	45	42							
成果指標	Instagramフォトコンテスト投稿数	(目標)			(20,000)	(25,000)	(30,000)	(30,000)		令和2年度 計14,237件			
		実績			26,554	26,960							
活動指標	SNS等での情報発信回数	(目標)		(25)	(22)	(15)	(15)			ユーチューブ動画やインターネット記事などのSNSでの情報発信回数			
		実績		27	30	21							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・事業実績 ○インターネット記事配信回数：5回 ○YouTube動画制作本数：短編動画6本、本編動画6本、インフルエンサー動画4本、視聴回数：150万回達成 				各事業、福井県の認知度を高めたという数値を示すことができたが、R5年度以降は興味関心及び誘客喚起を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	7,143		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

観光プロモーション動画制作事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]								
[解決すべき問題・課題] R4年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国42位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県 42位 (R4)									
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業等に向けて、県内17市町が持つ観光素材の魅力をアピールし、視聴者に「福井に行きたい!」と思わせる動画を、令和4、5年度で制作する。 ※委託先：(株)日本国際放送 (NHK子会社)															
[事業内容] プロモーション動画の制作 (1) プロモーション動画の仕様 映像尺：5～6分、短縮版1～2分 言語：4言語(日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)) 内容：本県の誇る風景、食、体験等をPRする、主に旅行会社向けのインパクトある動画制作 (2) 構成案 : ふくいのトップブランドを中心に福井のイメージを前面に打ち出す (3) 活用方法 ・令和5年秋北陸DC販促会議等、新幹線開業に向けた営業において旅行会社に対してPR ・県外での観光商談会や営業活動において、旅行会社に対してPR ・県外での誘客イベントにおいて来場者に対してPR ・海外でのPR活動(国際旅行博出展、海外事務所の現地旅行社訪問営業等)の際に活用															
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス)									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

観光プロモーション動画制作事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	0											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,848				1,848							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				9,108	1,848	・令和4年度：「夏」「秋」「冬」スポット撮影 ・令和5年度：「春」「恐竜博物館」撮影						
2月現計予算額の推移				9,108								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	福井の認知度（全国順位）	(目標)		(36)	(36)	(20)	(20)	R4年度「地域ブランド調査」における認知度				
		実績		42								
活動指標	撮影素材数	(目標)		(18)								
		実績		18								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
R4.8～ 夏素材、秋素材、冬素材の撮影 概ねスケジュールどおり撮影が進んでいる。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	7,260	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線開業に向けたメディアプロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン~]					
[解決すべき問題・課題] R4年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国42位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] R4年度地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所□						
[事業目的] 首都圏メディアに対し、本県の誇る「本物」情報をメディアが利用しやすい形に加工した上で提供することにより、本県の認知度を高め、関係を強化するとともに、本県情報の露出拡大を図る。												
[事業内容] (1) 首都圏メディアへのPR・招致活動事業 ・福井の地域資源に関する情報のメディア訪問による提供、メディアによる本県取材の働きかけ、メディアのニーズ調査などを実施 ・メディアにおける露出拡大のため、首都圏のメディア関係者の福井への招致拡大 (2) 首都圏における福井県「ミステリアスニュース」広告事業 ・東京新聞の4月1日のエイプリルフール企画にひねりのある広告を掲載することにより、福井県の特長を強調し、首都圏在住者に対し本県の認知度向上を図る。あわせてSNSで情報が拡散するよう、ウェブ上へも掲載する。												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

北陸新幹線開業に向けたメディアプロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営								事業経過年数	4 年		
補助率	0											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	39,700		19,850			19,850		デジタル田園都市国家構想交付金				
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			37,840	37,840	39,700	39,700						
2月現計予算額の推移			33,006	34,745	39,700							
決算額の推移			33,006	34,745								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井の認知度（全国順位）	(目標) (42) 実績 42	(40) 45	(36) 45	(36) 42	(36)	(20)	(20)	R4年度「地域ブランド調査」における認知度			
活動指標	取材招致件数	(目標) 実績 26	(24) 26	(24) 33	(24)	(24)			首都圏メディアの県内取材誘致			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

大手玩具メーカーとコラボした全国発信・誘客事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	委託								□ 補助金				事業 開始 年度	R5 年度 経過年数
補助率									□ その他				1 年	1 年
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開]							
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業に向け、県内の開業機運の盛り上がりだけでなく、全国に新幹線福井・敦賀開業を発信し、観光誘客の最大化を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和3年：12,356千人（令和6年目標：20,000千人）								
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、鉄道玩具“プラレール”を販売するタカラトミーとコラボした商品開発、全国販売を行い、プロモーションを実施することにより、本県の認知度向上につなげる。														
[事業内容] ・ コラボ商品の開発・販売 ・ オリジナルジオラマやノベルティの制作、コラボ動画による開業PR ・ 開業記念コラボイベントの実施														
[受益者] 全国のプラレールに興味がある親子						[想定される受益者数] 約14,000千人								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

大手玩具メーカーとコラボした全国発信・誘客事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	委託											経過年数			1 年
補助率	0											1 年			1 年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	22,210				22,210										
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						22,210									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	観光客入込数(千人) (目標) 実績					(20,000)	(20,000)	(20,000)	令和6年目標値 20,000千人(ふくい観光ビジョン) ※H30(16,970千人)比 20%増						
活動指標	コラボプロモーションに よるリーチ数 (目標) 実績					(1,856)			R5 想定リーチ数 1,706千人 R6 想定リーチ数 12,470千人						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和5年度の変更点					事業評価					
										<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

トップブランドとタイアップした福井の魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]								
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、本県の知名度を向上させ開業の認知、来県へつなげていく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 開業の認知度 (R4. 8イベントブース出展時のアンケートより) ①知っていた (76%)、②開業は知っていたが、時期は知らなかった (10%) ③知らなかった (14%)									
[事業目的] 人気のアニメとタイアップしたPRを展開し、本県の知名度および開業の認知度向上を図り、新幹線県内開業日の盛り上げりを最高潮に高める。															
[事業内容] 人気アニメとタイアップして県内外に対する新幹線開業のPR、誘客・県内周遊を図る。 (1) 観光PR動画制作・放映 (2) 観光PRポスター制作 (3) スタンプラリー実施															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約75万人									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

トップブランドとタイアップした福井の魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			1 年
補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	23,000					23,000									
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						23,000									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	開業時期の認知度 (%) (目標) 実績					(90)	(90)		令和元年度の認知度：64%						
活動指標	コラボ件数 (目標) 実績					(1)	(1)								
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

北陸デステーションキャンペーンを活用した誘客拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] R4年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国42位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] R4年度地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所						
[事業目的] 令和6年秋に開催される「北陸デステーションキャンペーン(DC)」、また、その1年前に開催されるプレキャンペーンおよび全国の旅行会社を集めて売り込みを行う「全国宣伝販売促進会議」において、JRグループ6社と北陸三県(富山県、石川県、福井県)の観光事業者、行政が一体となって、北陸への誘客拡大を図る。												
[事業内容] (1) 北陸DC推進(実行委員会負担金) R6.10～12に開催される北陸DCにおいて、石川・富山と共同でPRを行う。 (2) 全国宣伝販売促進会議会場設営 (3) 全国宣伝販売促進会議での福井県PR費用 全国宣伝販売促進会議において、福井県独自の県内観光地のPRを行う。 (4) 「福井県観光素材集」の別冊「特別観光素材集」の製作 「福井県観光素材集」の別冊「特別観光素材集」(DC中のイベント、観光スポット、具体的ルートに掲載)を作成(10,000部)												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス—活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	石川県、富山県も同額(負担金)を負担					

北陸デスティネーションキャンペーンを活用した誘客拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助									経過年数		
補助率	10/10									1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	32,259				32,259							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						32,259						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込客数(千人) (目標) 実績					(19,000)	(20,000)		観光客入込数を2000万人(R6)に増やす			
活動指標	全国宣伝販売促進会議への来場者数 (目標) 実績					(850)			全国宣伝販売促進会議参加者数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和5年度の変更点			事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸三県連携誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	北陸三県連携観光誘客協議会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金								経過年数	2 年		
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]					
[解決すべき問題・課題] コロナ禍前と比べ、R5年度の首都圏からの来県者減少が見込まれる 北陸という地理的優位性を活かしてPRするため、北陸3県が連携し首都圏からの誘客を促進する必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] R3年県内主要観光地入込数						
[事業目的] 北陸三県が連携した観光PRのため、「北陸」をテーマに各県の観光素材の共同開発、首都圏、関西圏および中京圏等への共同プロモーションなどを実施する。												
[事業内容] (1) 観光誘客促進事業 ・ 「北陸」をテーマにした民間の観光キャンペーンを誘致 ・ 三県共同で観光素材や観光ルートを開発 ・ 民間の観光キャンペーンを活用し、旅行パンフレットでのPRなど、三県共同で広報展開 (2) 共同プロモーション事業 ・ 関西圏等において、マスメディアを招待したメディア交流会を開催し、北陸の観光素材や魅力をPR ・ メディアへの共同訪問、三県の旬な取材候補地、観光素材のリストを作成し、提供												
[受益者] 観光事業者 (宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5, 477事業所 (H26経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況					他県の状況		富山県、石川県も同額を負担					

北陸三県連携誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄					
事業主体	北陸三県連携観光誘客協議会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	定額															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	17,000				17,000											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					17,000	17,000										
2月現計予算額の推移					17,000											
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	観光客入込客数(千人)	(目標) 実績	18,095	11,706	12,356	(18,500)	(19,000)	(20,000)	観光客入込数を2000万人(R6)に増やす							
活動指標	キャンペーン招致件数	(目標) 実績				(2)	(2)		県外企業が実施する観光キャンペーンを年間2件招致し、キャンペーンを通じた認知度向上を図る。							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価								
・ 阪急交通社、KNT-GTホールディングスのキャンペーンを誘致								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

観光商談会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体		(公社)福井県観光連盟			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助			経過年数					12 年			
補助率	10/10			事業 開始 年度					12 年			
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
	政 策	[10 新幹線開業効果を最大限]										
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通を契機に、地域やターゲットに応じた誘客戦略を推進し、さらなる観光客の誘致拡大を図る必要がある。						福井県観光客入込数 令和3年：12,356千人（令和6年目標：20,000千人）						
[事業目的]												
首都圏、関西・中京圏において、県内の観光産業関連事業者と現地の旅行会社のキーマンと商談する機会を提供する。												
[事業内容]												
<p>本県観光に関する説明（プレゼンテーション）および観光産業関連事業者による個別具体的な商談を実施</p> <p>開催場所 対面方式：東京、名古屋、大阪 オンライン方式：福井県内</p>												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 事業所数：5,477（H26経済センサス）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

北陸新幹線開業アイデアコンテスト実行支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	市町、民間団体またはグループ				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助								事業経過年数	4 年		
補助率	市町 1 / 2、民間団体またはグループ 2 / 3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開]					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業に向け、県内の開業機運の盛り上がりや、観光コンテンツの造成、プレイヤーの育成等により、観光誘客の最大化を図るため、市町・民間の取組みを継続して支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和3年：12,356千人（令和6年目標：20,000千人）						
[事業目的] 全国から募集した新幹線開業効果を高める優れたプロジェクトのアイデアやプランの実行を支援することにより、県内外での新幹線開業に向けた機運醸成を図る。												
[事業内容] (1) 優れたアイデアの実行支援 優れたアイデアの実行に取り組む市町を支援する。 ・実施主体 市町 ・補助上限額 5,000千円/年・市町 ・補助率 1/2 (2) 優れたプランの実行支援 優れたプランの実行に取り組む民間団体やグループ（以下、「事業者」）を支援する。 ・実施主体 福井県内の事業者 ・補助上限額 5,000千円/年・事業者 ・補助率 2/3 (3) ご当地コレクションカードによる誘客・周遊促進事業 観光客がカード収集をきっかけに県内一円を周遊できる体制を構築し、新たな観光の楽しみ方を提供することにより、誘客の促進およびカードを通じた観光地等の認知度向上を図る。 ・事業内容 (1) 県・市町の観光施設での「LOGe t! CARD」の発行 ・県立の誘客施設や県を代表する観光スポットについて、カードの増刷発行 ・アイデアコンテスト補助金を活用し、各市町観光スポットカードの発行を促進 (2) 民間での「LOGe t! CARD」発行を促すための補助制度												
[受益者] 県内観光客、各団体が実施するイベントの参加者						[想定される受益者数] 12,356千人（R3年観光客入込数）						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (実績) <“ワクワク”アイデア部門> 286件 <“ドキドキ”プラン部門> 34件				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		【石川県】R4当初予算 ・民間主体の先導的な取組に対する支援 59,000千円				

北陸新幹線開業アイデアコンテスト実行支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	市町、民間団体またはグループ				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助													
補助率	市町1/2、民間団体またはグループ2/3													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	60,338	29,559			30,779		デジタル田園都市国家構想交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		536	80,000	61,107	55,299	60,388	・アイデアコンテストに係る補助を要する市町の事業費の増 ・ロケットカードに関する予算を本事業に統合したため							
2月現計予算額の推移		536	31,185	36,396										
決算額の推移		451	27,275	35,269										
前年度までの 主な増減理由		・アイデアコンテストに係る補助を要する市町の数および事業費の増減により増減												
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(アイデアコンテスト) 観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 13,000 実績 18,095	(17,500) 11,706	(18,000) 12,356	(18,500)	(19,000)	(20,000)		令和6年目標値 20,000千人(ふくい観光ビジョン)					
活動指標	(アイデアコンテスト) 補助件数	(目標) — 実績 —	(23) 17	(23) 20	(23)	(23)	(23)		市町・事業者事業取組み団体数					
成果指標	(ロケットカード) LOGeT!CARD配 布枚数(単年)	(目標) — 実績 9,196	(2,000) 14,274	(14,000)	(20,000)	(34,000)	(34,000)		2,000枚/種類					
活動指標	(ロケットカード) LOGeT!CARD配 布種類(累計)	(目標) — 実績 —	(1) —	(7) 4	(10)	(17)	(17)		北陸新幹線福井・敦賀開業時に1市町1程度、計17種類以上					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
(アイデアコンテスト) ・実施団体が4年度は22団体となる見込み。 (ロケットカード) ・コロナ禍により各施設の来館者数が横ばいだが、ロケットカードの 配布は着実に進んだほか、配布施設も増えた。 ・外的要因				(アイデアコンテスト) ・民間2団体については補助により自走環境が整い、他15団体 についても引き続き補助を行い開業に向け環境整備に努めてい く。 (ロケットカード) ・ロケットカードの配布について多くの施設に働きかけ、5年度 には活動指標の達成目途がたっている。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

持続可能な「稼ぐ観光バスツアー」支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政 策 [10 新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] コロナ禍において、バス旅行者が大幅に減少しており、旅行需要を回復させるために旅行商品造成促進が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] R3年県内主要観光地入込数						
[事業目的] 北陸新幹線金沢開業や舞鶴若狭自動車道全線開通を契機として、本県を訪れるバスツアーを企画する旅行会社に対し支援することで、首都圏や中国・四国地方からの新たな観光誘客を図る。												
[事業内容] 福井県内に宿泊し、かつ一定額の消費活動を行う貸切観光バスツアーを企画する旅行会社に対する助成 補助単価： 25,000円/台・泊 ※ 貸切バス料金の制度改正(H26.8月～)に伴う値上げ相当 ※ 県内での宿泊日数を乗じて加算(2泊の場合 25,000円×2泊=50,000円) ※ 12~2月は30,000円/台・泊 補助条件： ・貸切バスを利用して他都道府県民が福井県内を観光する10名以上の旅行商品 ・福井県内に1泊以上宿泊 ・福井県内の観光地を1泊につき2箇所以上訪問 ・福井県内の食事施設または物販施設を1泊につき1箇所以上訪問し、かつ、1泊につき1箇所以上の施設で参加者1人あたり1,500円(税込)以上の消費 ※募集型・受注型どちらの商品も対象 ※行程の一部に公共交通機関(電車、新幹線、飛行機等)を利用する商品も対象												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数：5,477(H26経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

持続可能な「稼ぐ観光バスツアー」支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄					
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	10/10															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	4,000				4,000											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						4,000										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	県内延べ宿泊者数(万人) (目標) 実績					(510)	(510)		令和6年目標値 510万人(ふくい観光ビジョン)							
活動指標	支援台数 (目標) 実績					(150)	(150)		3~11月 100台、12~2月 50台							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体		県、(公社)福井県観光連盟、市町			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、補助													
補助率	10/10、1/2													
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野	〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕			関連する県の計画等		〔 ふくい観光ビジョン 〕							
	政 策	〔 10 北陸新幹線開業効果を最大化 〕												
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
本県への修学旅行生の数は北陸3県の中で最も少ない。						R3年県内主要観光地入込数								
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、福井ならではの体験プログラムの造成、受入体制の充実、旅行会社等への営業強化などにより、本県への教育旅行の誘致促進を図る。														
[事業内容] (1) 教育旅行誘致の推進 【県観光連盟】 ○福井ならではの修学旅行向け体験プログラムの造成 ○大手旅行会社を対象にした研修の受入 ○県内事業者が旅行会社と契約を結ぶ際の初期費用助成 ○旅行会社、学校等への営業訪問 ○旅行会社向けのエクスカージョン、首都圏における商談会開催(北陸3県、JR西日本、JR東日本と連携実施) ○教育関係者向けの説明会開催、本県への視察招聘 ○修学旅行における福井県オリジナル体験メニューの体験料助成 助成額 : 1,000円/人・泊 (2) 合宿誘致の推進 ○合宿誘致に向けたパンフレット作成 ○学生等の合宿にかかる宿泊料等の助成に対する支援 事業主体 : 市町 助成額 : 宿泊費 500円/人泊 地域交流費 250円/人 補助率 : 宿泊費 県1/2(市町1/2) 地域交流費 県10/10														
[受益者] 県外から福井県への教育旅行者						[想定される受益者数] 94,800人(H29)								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	・市町と共同営業 ・学生合宿助成は市町も同額を負担 ・市町および関係事業者間で、合宿の受入状況や取組事例などの情報交換					他県の状況	富山県 「富山で合宿！」誘致事業補助金							

福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄					
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟、市町				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	10/10、1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	39,302					39,302										
[予算額の推移等] (単位：千円)																
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		42,999	38,651	41,484	38,884	39,302	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内事業者が旅行会社と契約を結ぶ際の初期費用支援メニューを追加 ・ 教育旅行ガイドブックの改訂、配布を追加 									
2月現計予算額の推移		41,449	8,487	15,751	20,010											
決算額の推移		34,411	6,155	12,766												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	県外からの教育旅行者数 (目標)	(100,000)	(100,000)	(100,000)	(100,000)	(100,000)	(100,000)	(100,000)								
	実績	104,281	43,808	102,230												
活動指標	合宿助成制度実施市町数 (目標)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)								
	実績	15	15	15	15											
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県への修学旅行は令和3年度より徐々に増加傾向 ・ 外的要因 新型コロナ影響等により、事業規模縮小のため目標未達成 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

コンベンション誘致促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体		(公社)福井県観光連盟			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助			経過年数					4 年			
補助率	1/2、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] R4年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国42位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。					[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県 42位 (R4)							
[事業目的] 国際会議や全国的な会議・学会等の誘致拡大に向けて、誘致活動の強化およびコンベンション主催者への支援等に取り組み、県内全域でコンベンション振興を図る。												
[事業内容] (1) コンベンション開催助成金 補助上限 国内：9,000千円 国外：3,000千円 (2) コンベンション誘致・活用推進 ・コンベンション誘致職員の配置 ・営業活動 ・広報宣伝 ・MICE誘致のためのイベント出展 等												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数：5,288 (H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

コンベンション誘致促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	補助									経過年数			4 年
補助率	1/2、10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	35,579				35,579								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		50,135	29,248	36,938	35,579	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間派遣職員の削減 ・ コンベンション開催助成金 増額 ・ MICE誘致のためのイベント出展 増額 							
2月現計予算額の推移		6,243	7,107	19,856									
決算額の推移		4,622	5,888										
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	コンベンション参加人数 (目標)	(20,000)	(20,000)	(20,000)	(20,000)	(30,000)	(40,000)						
	実績	1,365	29,975										
活動指標	コンベンション開催件数 (目標)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)						
	実績	6	33										
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
・ コンベンション参加人数29,975人、開催件数33件と目標値を上回った。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,359		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

高速道路網を活用した観光誘客事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕			関連する県の計画等		〔 ふくい観光ビジョン 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
コロナ禍において、高速道路を利用したマイカーによる旅行者が大幅に減少、旅行需要を回復させるための割引キャンペーンなどが必要である。						福井県観光客入込数 令和3年度：12,356千人（令和6年目標：20,000千人）						
[事業目的]												
石川県・富山県やNEXCOと連携し、ドライブプラン造成などを実施し、関西・中京圏等からの誘客を強化する。												
[事業内容]												
<p>(1) 北陸3県連携によるマイカー誘客促進施策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NEXCOドライブプランの利用促進に向けた広報 ・ 北陸3県で共同開発した専用コンテンツを活用する情報発信 <p>(2) NEXCOと連携した誘客施策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路SAでの観光情報発信 配架物 : 観光パンフレットや各種キャンペーン・イベント等のチラシ 配架先 : 大津・西宮名塩・西紀（NEXCO西日本管内） 南条・賤ヶ岳・小矢部川・長良川（NEXCO中日本管内） ・ お国じまんカードラリー NEXCO西日本と包括協定を締結する府県「ご自慢」の観光地を周遊するキャンペーン 参加府県： 24府県 その他 : お国じまんカードを集めると各地の特産品をプレゼント 												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 事業所数：5,477（H26経済センサス）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・ 実行委員会参加により共同でイベント、出向宣伝等を実施 ・ お国じまんカードラリーのスポット選定、運営					他県の状況						

高速道路網を活用した観光誘客事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,000	2,500			2,500	デジタル田園都市国家構想交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		5,465	5,464	9,000	9,000	5,000	北陸3県連携によるマイカー誘客促進施策の拡充					
2月現計予算額の推移		5,465	5,464	7,756								
決算額の推移		5,420	5,461	2,988								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込客数(千人) (目標) 実績	(13,000) 18,095	(17,500) 11,706	(18,000) 12,356	(18,500)	(19,000)	(20,000)		令和6年目標値 20,000千人(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	出向宣伝実施箇所数 (目標) 実績	(17) 26	(17) 26	(17) 26	(17)	(17)	(17)		嶺北地域、京都府・滋賀県、関西・中京ほか			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルス禍の回復等により、目標達成を達成。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	4,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

県民協働おもてなし事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる(創造力)]	政 策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]	関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]							
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業自体の認知度と比べて開業駅名の認知度が低いなど、新幹線開業に対する実感が薄い県民もまだ多くいることから、新幹線開業を自分事として捉えてもらうため、身近なイベント等でのPRを強化するとともに、自発的におもてなしの心もちとなるような仕掛けが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 開業の認知度 (R4.8イベントブース出展時のアンケートより) ①知っていた(76%)、②開業は知っていたが、時期は知らなかった(10%) ③知らなかった(14%)						
[事業目的] 県民総参加のもと来県者を心のこもったおもてなしでお迎えするため、企業・団体等におもてなしの取組を宣言・実践いただき、おもてなし機運の醸成を図る。また、県内イベントに出展し開業をPRする広報キャラバンを結成するとともに、新幹線開業ウェルカムダンスを制作・各地で披露し、県内の盛り上げを図っていく。												
[事業内容] (1) おもてなし宣言の登録 ・県内の企業・団体等におもてなし活動を宣言し実践してもらい、ステッカー等を宣言企業・団体に提供し、県HP等で周知 お手振りイベント(想定)や開業当日イベント等の開業関連イベントに参加を促し、おもてなし機運醸成の県民運動につなげる。 また、登録企業・団体の活動を見える化するため、特別CMにて活動を紹介する。 (2) 県内イベントでの開業PRキャラバン ・新幹線開業の機運醸成を図るため、県内各地で開催されるイベントに出展する開業PRキャラバン隊を派遣する。 また、市町や民間のイベントへもパネル類の貸出を行い、民間企業と協働で開業機運を盛り上げる。 新幹線開業後は、駅構内などで観光客が多い時間帯を中心に、県民参加によるお出迎えキャラバンを実施する。 (3) 新幹線開業ウェルカムダンスによる機運醸成 ・はぴねすダンスをリメイクした新幹線開業ウェルカムダンスを活用し、地域のイベントをダンスで盛り上げ、県民参加型の機運醸成を図る。 ・県民から募集・登録するダンスサポーターとともに、県内各イベントにてダンス披露 ・希望団体への出前教室を引き続き実施□												
[受益者] 企業・団体、県民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	市町や民間イベントへのパネル類の貸出しを実施					他県の状況						

県民協働おもてなし事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	36,264	18,132			18,132		デジタル田園都市国家構想交付金					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		13,478	25,610	29,334	36,264	おもてなし宣言291登録企業、団体の活動を見える化するため、特別CMを放映し活動を紹介						
2月現計予算額の推移		13,478	25,610	29,334								
決算額の推移		11,552	22,310									
前年度までの 主な増減理由	R2→R3 県内イベントでの開業PRキャラバンの日数を8日→20日に増加 (うち10日間は、新たに市町や民間イベントへの貸し出し) 新たに新幹線開業ウェルカムダンスを制作 R3→R4 県内イベントでの開業PRキャラバン日数を20日→40日に増加 (うち20日間は、新たに市町や民間イベントへの貸し出し)											
[成果指標等の推移]												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	開業時期の認知度 (%) (目標)	(70)	(75)	(80)	(90)	(90)		令和元年度の認知度：64%				
	実績	62	76									
活動指標	開業PRキャラバン実施日数 (日) (目標)	(10)	(20)	(40)	(100)	(100)		県内で実施した開業PRキャラバンの実施日数				
	実績	14	25	87								
活動指標	おもてなし宣言の宣言数 (累計) (目標)	(200)	(400)	(700)	(1,000)	(1,000)		県内でボランティア等のおもてなし活動に取り組む団体や企業				
	実績	166	430	847								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・おもてなし宣言291 宣言企業・団体数 847 (2月末) ・PRブース出展実績 県イベント/10イベント(20日)出展 市町民間貸出し/25イベント貸出し予定 ※開業時期の認知度は、3月のイベントブースでもアンケートを予定しており令和4年度の成果指標は未定								■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

北陸新幹線開業に向けた県民参加型ワークショップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]								
[解決すべき問題・課題] R4年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国42位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県 42位 (R4)									
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県内の機運醸成や魅力の掘り起こしおよび発信のため、県民参加型のワークショップなどによるブロック恐竜や観光雑誌の制作を行い、チームふくいによる誘客促進を図る。															
[事業内容] (1) ブロック恐竜制作・展示事業 ・本県のブランドの恐竜をブロックにより再現、制作し、JR福井駅等に展示。 ・県民にブロック提供の協力を呼びかけ、ワークショップにおいて共同でブロック恐竜の一部を制作。															
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所 (H28経済センサス)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

北陸新幹線開業に向けた県民参加型ワークショップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営								経過年数	2 年		
補助率	0											
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等				
予算額	11,953						11,953					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					39,902	11,953	県民メッセージ時計、開業ドラマ制作の完了等により減額					
2月現計予算額の推移					39,902							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井の認知度（全国順位）	(目標) 実績			(36) 42	(36)	(20)	(20)	「地域ブランド調査」における認知度			
活動指標	ワークショップ参加人数	(目標) 実績				(60)	(60)	(60)	30名×2日間			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和5年度の変更点			事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	27,949	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線開業スタートアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、(公社) 福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	一、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
県民の新幹線開業に対する機運を開業時に最高潮にもっていくことが重要。						福井県観光客入込数 令和3年度：12,356千人（令和6年目標：20,000千人）						
[事業目的]												
新幹線駅設置市が行う開業イベントへの支援や県内主要駅へのカウントダウンボードの設置等を行うことにより、開業効果の最大化を図る。												
[事業内容]												
<p>○開業イベント実施の支援</p> <p>補助対象者 新幹線駅の設置市が中心となって周辺市町などと構成する実行委員会等</p> <p>補助対象事業 補助対象者が開催するカウントダウン(節目)イベント および 開業当日の歓迎イベント等</p> <p>ただし、開業当日(土日の計2日を想定)の歓迎イベントは必須開催とする</p> <p>補助率等 1/2(補助上限：イベント開催10,000千円)</p> <p>○北陸新幹線を出迎えるノベルティや装飾の準備</p> <p>・開業PRポスターやのぼり、配布ノベルティを制作</p> <p>○県内主要駅へのカウントダウンボードの設置</p> <p>・開業日の発表に合わせ、県内JR4駅と県庁舎にカウントダウンボードを設置するとともに除幕・点灯式を実施</p> <p>○市町と旅行会社の情報交換会の実施</p> <p>○北陸新幹線開業プラン推進会議の開催</p>												
[受益者] 企業・団体、県民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線開業イベント開催事業 (役割分担)				
市町との連携状況		・17市町観光担当課長を回り新幹線開業対策や北陸DCについて議論 ・北陸新幹線開業連絡会議を1回開催				他県の状況						

北陸新幹線開業スタートアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、(公社) 福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	一、10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	52,206	20,159			32,047	デジタル田園都市国家構想交付金						
[予算額の推移等] (単位: 千円)												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		8,728	23,074	22,474	52,202							
2月現計予算額の推移		8,728	21,831	21,775								
決算額の推移		7,989	737									
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込者数(千人) (※暦年)	(目標) (13,000) 実績 18,095	(17,500) 11,706	(18,000) 12,356	(18,500)	(19,000)	(20,000)	令和6年目標値 20,000千人(ふくい観光ビジョン)				
活動指標	4市でのイベント開催数	(目標)	(4)	(8)	(8)	(8)						
活動指標	開業装飾掲出数	(目標)				(2,000)		開業日PRポスター等の制作物の掲出数				
活動指標	検討会議開催数	(目標) (3) 実績 3	(3) 5	(3) 6	(3)	(3)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月に新幹線駅設置4市にて、開業1年前イベントを実施。 ・その他、機会を捉えて開業機運醸成イベントを開催。 ・「FIRST291～北陸新幹線開業プラン～」連絡会議(8月29日)やイベント検討会議(9月5日、11月7日、11月15日)を開催。 ・外的要因 新型コロナ影響等により、事業規模縮小のため目標未達成 				令和5年度は開業年度であり、開業時には観光客を歓迎するための県民参加型のイベントを開催し観光客をもてなすほか、県民とともに開業を祝う大規模なイベントを開催する必要があるため、補助額を拡充する。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

関西圏での観光・物産PR拠点設置事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	負担金													
補助率	-													
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政 策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開]							
[解決すべき問題・課題] 大阪・関西万博(R7)やワールドマスターズゲームズ(R9)など世界的イベントを契機に、大阪を訪れるインバウンドや関西在住の観光客をターゲットにした観光・物産のPRを行う。						[問題・課題を表す客観的データ] 開業の認知度(R4.8イベントブース出展時のアンケートより) ①知っていた(76%)、②開業は知っていたが、時期は知らなかった(10%) ③知らなかった(14%)								
[事業目的] 令和6年夏に開業予定のJR大阪駅隣接の大型複合施設に、北陸三県による情報発信拠点を設置し、関西圏の消費者や大阪・関西万博を訪れる国内外からの観光誘客を促進する。														
[事業内容] ○内 容 : 北陸三県連携による関西情報発信拠点の設置 ○場 所 : 大阪市北区梅田3丁目(旧大阪中央郵便局および周辺ビル跡地)に建設予定の38階建て高層ビル2階「地域活性化拠点」														
[受益者] 福井県内の観光事業者(卸売、小売、宿泊、飲食業)						[想定される受益者数] 7,567社(R3経済センサス-活動調査)								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

関西圏での観光・物産PR拠点設置事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	47,000				47,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						47,000□						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	外国人延べ宿泊者数 (人)	(目標) (100,000) 実績 97,730	(127,000) 23,080	(165,100) 9,370	(214,630)	(280,000)	(400,000)	(400,000)	令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	観光コンシェルジュ配置 数(人)	(目標)					(3)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体		福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	負担金			□ 法定受託事務					事業 開始 年度	経過年数			7 年
補助率	定額												
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]		関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]						
[解決すべき問題・課題] 日本遺産や鉄道遺産などに認定された観光資源等を本県の観光誘客に活用するため、福井県、滋賀県、京都府が広域的に連携して観光ルートの開発など実施する必要がある。					[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和3年度：12,356千人（令和6年目標：20,000千人）								
[事業目的] 舞鶴若狭自動車道（若狭さとうみハイウェイ）、京都縦貫自動車道の全線開通による新たな高速交通ネットワークを活かし、日本遺産や鉄道遺産、海湖と森の雄大な自然資産に美味しい食などの魅力を加えた新たな広域観光誘客を、福井県、滋賀県、京都府で連携して促進する。													
[事業内容] 福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会（3府県）による観光誘客 ○日本遺産・鉄道遺産・歴史・自然遺産活用 ・新たな周遊モデルルートの開発（「日本遺産、鉄道遺産or戦国マップ」を刷新） ・観光キャンペーン等による相互PR ・鉄道遺産や海湖と森の自然資産の他、関連するガイド施設や体験メニューなどの観光素材集を活用した共同営業													
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 事業所数：5,288（H28経済センサス）							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高速道路網を活用した観光誘客事業 (役割分担) 上記事業の「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンにおいて、三府県の日本遺産等をPR						
市町との連携状況						他県の状況	滋賀県、京都府も同額を負担						

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	800	400			400	デジタル田園都市国家構想交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,000	600	1,000	1,000	800						
2月現計予算額の推移		1,000	600	0	800							
決算額の推移		1,000	600	0	800							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井の認知度（全国順位）	(目標) (42) 実績 42	(40) 45	(36) 45	(36) 42	(36)	(20)	(20)	R4年度「地域ブランド調査」における認知度			
活動指標	三府県共同営業回数	(目標) (4) 実績 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4)	(4)	(4)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
事業実績 ・高速道路乗り放題プラン「ぐるっとドライブパス」のPR ・福井、滋賀、京都を周遊する鉄道パンフレットの作成 ・外的要因 新型コロナ影響等により、事業規模縮小								□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	200	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

開業直前イベント開催検討事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	委託													
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線 開業プラン～]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
100年に一度の新幹線開業を迎えるにあたり、県内および首都圏などに向け、開業機運を盛り上げる必要。						開業の認知度 (R3.7イベントブース出展時のアンケートより) ①知っていた (65%)、②開業は知っていたが、時期は知らなかった (20%) ③知らなかった (15%)								
[事業目的]														
100年に一度の新幹線開業を祝い、県内の機運を最大限に高めるための大規模な県民参加型イベント(令和5年開催)の開催準備を行う。														
[事業内容]														
<p>令和5年度の開業直前に実施する、大規模な県民参加型イベントの実行プラン(実施計画、運営計画、広報計画)の作成(想定イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線の試走時(令和5年秋頃)を活用し、県民が多数参加し、まちに待った新幹線車両を盛大にお迎えし、開業と新たな福井の門出を祝うお祭りイベントを開催。 ・また、県内メディアが共同で参加者募集イベントや当日のライブ放送を行うなどにより、県内全域を一体感を持ったお祭りムードにするとともに、開業前後にテレビCMやSNSで動画を全国発信し、県内外の開業機運を最大限に高める。 ・JR西日本コミュニケーションズおよび県内メディアの企業共同体に委託 ・石川県との共同開催も検討 <p>(想定スケジュール) 令和4年春～秋: 実行プラン(実施計画、運営計画、広報計画)策定 令和5年夏: メディアでイベント広報、参加者募集 令和5年秋: イベント実施 令和6年春(開業前後): 動画をテレビCMやSNSで全国配信</p>														
[受益者] 企業・団体、県民						[想定される受益者数] 約75万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	実行委員会の実施する会議には、市町も参画。 イベントの際には、学校等の団体への参加呼びかけ、撮影スポット選定の協力を依頼。					他県の状況	・石川県(場合によっては富山県)との共同開催も検討							

開業直前イベント開催検討事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	0					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額					0									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					2,000	0								
2月現計予算額の推移					2,000									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	開業時期の認知度 (%) (目標) 実績		(70) 62%	(75) 76%	(90)		(90)	(100)	令和元年度の認知度：64%					
活動指標	イベント参加(申込)者数 (目標) 実績													
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・開業時期の認知度令和2年度に比べ増加している ・R4で事業完了 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	2,000			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

魅せる開業PR装飾事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田輝雄	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			経過年数					2 年			
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
100年に一度の新幹線開業を迎えるにあたり、県内開業機運を盛り上げる必要						開業の認知度 (R3.7イベントブース出展時のアンケートより) ①知っていた (65%)、②開業は知っていたが、時期は知らなかった (20%) ③知らなかった (15%)						
[事業目的] 開業1年前カウントダウンイベントが開催されるタイミングに合わせ、SNSで発信したくなるような映える仕掛け広告で県内主要駅を装飾することにより、開業機運の盛り上げを最大化する。												
[事業内容] 地味にすごい福井の技術を活用した、映える仕掛け広告(看板、のぼり旗)により、県内主要5駅を装飾。県内開業機運を盛り上げるとともに。SNSでの爆発的な話題拡散(バズらせる)を狙う。 <ul style="list-style-type: none"> ・開業1年前となる令和4年3月に、県内企業の持つ日本唯一のすごい技術を活用した、わざわざ見に行きたくなる、写真を投稿したくなるような仕掛け広告により県内主要駅(新幹線開業駅)を装飾し、1年後の福井・敦賀開業をPRする。 ・駅設置市やJR西日本が駅周辺で開催するカウントダウンイベントと時期を合わせることで、相乗効果を図る。 ・ライトを照射すると7色に光り、PRロゴマークなどの模様が浮き出る不思議な看板やのぼり旗を各駅10か所程度、1か月間掲示する。見た人がフラッシュ撮影や動画で撮影し、SNSへ投稿、拡散したくなる仕掛けとすることで、爆発的な話題拡散(バズらせる)を狙う。 ・掲出箇所: JR5駅(芦原温泉駅、福井駅、鯖江駅、武生駅、敦賀駅) 												
[受益者] 企業・団体、県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新幹線開業カウントダウンイベント開催事業 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・駅設置市が駅周辺で開催するカウントダウンイベントと時期を合わせることで、相乗効果を図る。 ・県は統一的な看板やのぼり旗を掲出し、各駅のイベントに一体感を持たせる。 					

魅せる開業PR装飾事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	0											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					8,575	0						
2月現計予算額の推移					8,575							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	開業時期の認知度 (%) (目標) 実績		(70%) 62%	(75%) 76%	(90%)	(90%)	(90%)	(90%)	R元年度の認知度：64%			
活動指標	看板掲出箇所数 (目標) 実績				(50) 11							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・当初多くののぼり旗等の掲出を予定していたが、事業実施の中で小さい看板の掲出ではなく大きく目立つ看板の掲出に変更したため活動指標は未達となった。 ・開業時期の認知度令和2年度に比べ増加している ・R4で事業完了 				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	8,575	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線開業に向けたふくいみやげRe:デザイン事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体		(公社) 福井県観光連盟			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助			経過年数					4 年			
補助率	10/10			事業 開始 年度					R2 年度			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開]					
[解決すべき問題・課題] 民間調査によると、本県の「魅力のある特産品や土産物が多かった」と回答する宿泊旅行者割合が、全国でも下位(30位)にあり、旅行の思い出として持ち帰る土産品・特産品の魅力向上を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] じゃらん宿泊旅行調査2021 ・「魅力のある特産品や土産物が多かった」 福井県30位						
[事業目的] 新幹線開業に向け、福井のお土産がより魅力的なものとして、多くの消費者から選ばれるようにするため、パッケージ開発から販売に至るまで、デザイン思考を取り入れ、人気土産をリデザインする。												
[事業内容] 「旅の風景を切り取り、土産に乗せて持ち帰る」をコンセプトに、県内女性がお勧めする20種類の菓子類を皮切りに開発された「キリトリップ」の裾野をさらに広げることで、土産を通じた交流人口の拡大を図る。 (1) 「キリトリップ」販路の拡大 ・ 県内販売店舗拡大(駅、道の駅、観光地周辺等)に向けた交渉を実施 ・ 県内外から集客が見込まれる県内での展示会やコンサートイベント等、出展範囲を拡大 ・ 県外でのトライアル販売(ふくい南青山291等)を実施し、販売結果の検証および商品改良等を実施 (2) 「キリトリップ」ブランド周知のためのプロモーション ・ SNS(Instagram、Facebook)運用による継続的なプロモーションを実施 ・ キリトリップという「モノ」から福井のファンとなる「ヒト」を生み出す生産者ツアー等の造成・実施 (3) 持続可能な実施体制の構築と自走に向けた交渉 ・ 商標権に基づく売上高に応じたロイヤリティ等、将来的な自走の仕組みとなる収益モデルを構築 ・ R5年度からの自走を目指し、各設定の見直し、取扱商品数の増大、販売期間の延長等を実施 ・ 収益モデル、販売スキーム等をまとめた引継ぎ資料を作成し、自走候補主体への事業引継ぎ交渉を実施												
[受益者] 県内観光客						[想定される受益者数] 12,356千人(R3年観光客入込数) □						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 産業デザインプロデュース事業 (役割分担) 具体的な課題を有する企業に対して、課題に適合した専門家を派遣する。指導内容は、ブランディング等のプロデュースに重点を置くが、企業の課題に応じ、商品や販促ツール等のデザインについても指導を行う。 上記事業は個別企業を対象にしているが、本事業は県内土産物製造企業全体を対象としたパッケージ等の検討を行う。						
市町との連携状況						他県の状況						

北陸新幹線開業に向けたふくいみやげRe:デザイン事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体		(公社) 福井県観光連盟			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助			経過年数					4 年			
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額					0							
[予算額の推移等] (単位: 千円)												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	/	5,990	5,869	8,334	0	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏でのトライアル販売を実施 ・生産者ツアー等の造成・実施 ・R5自走に向けた収益モデル事業引継ぎ交渉の実施 						
2月現計予算額の推移		5,990	5,869	8,334								
決算額の推移		5,990	5,869									
前年度までの 主な増減理由	販路拡大およびブランド認知度向上に向けたプロモーションの拡大、自走体制構築に向けた交渉、資料作成											
[成果指標等の推移]												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	キリトリップ取扱店舗数 (目標)	(1)	(7)	(15)		(15)	(40)	開業年度には新幹線駅4駅+観光地・宿泊施設土産店等+道の駅				
	実績	3	8	15								
活動指標	キリトリップ対象商品数 (目標)	(20)	(20)	(20)		20	40	菓子類20品、加工品類20品				
	実績	20	20	17								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に20品目でトライアル販売を実施したほか、取扱店舗拡大を行い、販売数の増加に寄与した。 ・R4で事業完了 				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	8,334	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

新幹線開業に向けた観光情報デジタル化推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田輝雄			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～新幹線開業プラン～]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
県内観光施設や店舗の情報など、旅行者が旅ナカで必要とする魅力的な情報がインターネット上に少なく、誘客に結び付いていなかった。						じゃらん宿泊旅行調査 現地で良い観光情報を入手できた 18% (全国47位) …R3発表 現地で良い観光情報を入手できた 30% (全国16位) …R4発表									
[事業目的]															
観光客が“旅ナカ”で欲しい情報を入手できるようにするには、県内の観光関連事業者が観光客にデジタル情報を発信することが重要である。よって、県内観光関連事業者を主な対象として、政策誘導に繋がるセミナーを実施し、観光情報デジタル化の取り組みを推進する。															
[事業内容]															
観光情報デジタル化セミナーの開催 ・実施日：令和5年3月17日(金) ・内容：オズモール福井県オウンドページの説明、分析 福井女子部運用チームと県内観光事業者との意見交換ほか ・実施方法：リアルとウェビナーのハイブリット方式															
[受益者] 観光事業者 (宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所 (R3経済センサス※速報)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 SNSを活用した福井ファン拡大事業 (役割分担) SNSを活用した福井ファン拡大事業で得られた知見やノウハウを県内観光事業者などと共有する。								
市町との連携状況						他県の状況									

新幹線開業に向けた観光情報デジタル化推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営									経過年数			
補助率	0									4 年			
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			2,510	2,044	990	0	じゃらん宿泊旅行調査の結果が改善したとともに、市町単位などでも同様のセミナーが開催されているため事業を完了。						
2月現計予算額の推移			2,510	2,044	990								
決算額の推移			2,215	1,826									
前年度までの 主な増減理由	セミナー開催費用の精査による減												
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	現地で良い観光情報を入 手できた(単位：%)	(目標) 実績	20	18	30	(20)	(22)			じゃらん宿泊旅行調査(R3年発表) 現地で良い観光情報入手できた 18% (全国47位) ※前年度の宿泊旅行に関するアンケートを元に発表			
活動指標	デジタル化セミナー開催 数	(目標) 実績		(1)	(1)	(1)							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和5年度の変更点					事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを活用した福井ファン拡大事業を得られた知見やノウハウをもとに、インスタグラムを利用し首都圏女性に届く観光情報発信セミナーを3月に開催予定 ・ R4で事業完了 			—					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	990		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

県民参加型新幹線開業実感イベント開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政 策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～新幹線開業プラン～]								
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業に向けた県民の機運醸成が必要						[問題・課題を表す客観的データ] 開業の認知度 (R4. 8イベントブース出展時のアンケートより) ①知っていた (76%)、②開業は知っていたが、時期は知らなかった (10%) ③知らなかった (14%)									
[事業目的] 北陸新幹線開業まで2年を切り、県民の新幹線開業に対する期待感や熱量をさらに増大させるため、県民参加型のイベントを開催し、開業を実感し身近に感じることが出来る形で機運醸成を図る。															
[事業内容] ○想い、つながる！北陸新幹線開業実感リレーウォーク 北陸新幹線敦賀車両基地から石川県境（越前加賀県境の館）までを4日間かけてウォーキング&ランで繋ぐ。石川県側も同日に金沢駅を出発し、県境を目指す。県境の館では、両県からの参加者が対面し、セレモニーを実施。 ○目指せ、全線踏破！北陸新幹線開業実感バーチャルウォーク スマートフォンアプリを活用したイベント。アプリ上に設定された「北陸新幹線（敦賀車両基地→東京駅）」の約581kmの全線踏破を目指し、スマートフォンを持って9月の1か月間でお好きな場所を歩くバーチャルイベント。 9月の歩行距離に応じて、キャラクターが敦賀車両基地から出発し、北陸新幹線沿線を歩き東京駅を目指す（キャラクターが画面上を移動する）。 ○魅力、再発見！北陸新幹線開業実感チェックインウォーク スマートフォンアプリを活用したイベント。新幹線4駅を起点として、北陸新幹線に関連する施設のほか、たくさんの地域の名所をチェックポイントとして設定。 参加者はアプリを起動しながら、エントリーしたコースの「全てのチェックポイント」を1日で巡り、1コース毎にゴールを目指す。															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約75万人									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況	石川県と連携し、リレーウォークを実施								

県民参加型新幹線開業実感イベント開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営								事業 区分	事業 区分			事業 区分	R4 年度
補助率	0													事業 区分
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				14,471	0	県民参加型新幹線開業実感イベントとして、ウォーキングを活用した事業は完了。								
2月現計予算額の推移				14,471										
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	開業時期の認知度 (%)	(目標) 実績	(70) 62	(75) 76	(90)	(90)		令和元年度の認知度：64%						
活動指標	イベント参加人数	(目標) 実績			(2,600) 5,860									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を大きく上回る参加者があったことに加えて、石川県との連携もでき、参加者からは開業に向けた期待感を感じられた。 ・ R4で事業完了 				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	14,471			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

バスツアー造成促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体		(公社)福井県観光連盟			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度			
事業実施方法	補助														
補助率	10/10														
福井県長期ビジョンにおける位置付け		分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]		関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
コロナ禍において、バス旅行者が大幅に減少しており、旅行需要を回復させるために旅行商品造成促進が必要である。						福井県観光客入込数 令和3年度：12,356千人（令和6年目標：20,000千人）									
[事業目的] 北陸新幹線金沢開業や舞鶴若狭自動車道全線開通を契機として、本県を訪れるバスツアーを企画する旅行会社に対し支援することで、首都圏や中国・四国地方からの新たな観光誘客を図る。															
[事業内容] バスツアーを企画する旅行会社に対する助成 補助単価： 25,000円/台 ※貸し切りバス料金の制度改正（H26.8月～）に伴う値上げ相当 補助台数： 80台（上限） (令和5年度債務負担行為 2,000千円)															
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 事業所数：5,477（H26経済センサス）									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	・各市町のパンフレットやイベントチラシ等を配架 ・各市町が観光PRする際にイベントスペースを使用					他県の状況									

バスツアー造成促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			□ 補助金			H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)
補助率	10/10								□ その他			経過年数 9 年	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		2,000	2,000	2,000	2,000	0							
2月現計予算額の推移		2,000	2,000	6,263	2,000								
決算額の推移		1,875	1,265	6,263									
前年度までの 主な増減理由	R2→R3 流用にて増額したため												
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	送客人数	(目標) (2,880)	(2,880)	(2,880)	(2,880)	(2,880)			令和元年度の認知度：64%				
		実績 2,378	2,394	5,684									
活動指標	支援台数	(目標) (80)	(80)	(80)	(80)	(80)							
		実績 71	75	213									
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
・令和3年度は9月に、助成内容を宿泊商品だけでなく、日帰り商品も対象としたため、成果指標および活動指標を大きく達成した。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	2,000		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			